

執筆者紹介

高作 正博 (たかさく・まさひろ)

第1章1・6, 第6章

関西大学法学部教授

◎社会の一員になるあなたへ◎

自由や権利は、自分だけの利益を最優先しようとするエゴイズムを意味しません。自分の権利と同様、他者の権利も重要なものとして認め合うことが前提とされているからです。そのことの意味と重みを感じながら、本書の扉を開いてください。

矢野 恵美 (やの・えみ)

第1章2～5

琉球大学大学院法務研究科准教授

◎社会の一員になるあなたへ◎

どの国に生まれても、法律にかかわらず生きていくことはできません。法律を知っているかどうかで人生は大きく変わります。一方で法律は人のつくるものですから、よい法律もありますが、ときには改正が必要になる場合もあります。まずはこの本で、自分の国の法律の基本的な内容に興味をもっていただければ幸いです。

上地 完治 (うえち・かんじ)

第2章

琉球大学教育学部准教授

◎社会の一員になるあなたへ◎

私たちの社会は多様性や矛盾に満ちています。それは、社会を豊かにする刺激的なスパイスでもあれば、社会の秩序が揺らぐ混乱した状況にも感じられます。「何が正しいか」「どうすればよいのか」という重要な問いに対して明確な正解がないという現実を認めつつ、答えを自分なりに作りだす、そのためのお手伝いができれば幸いです。

寺川 永 (てらかわ・よう)

第3章

関西大学法学部准教授

◎社会の一員になるあなたへ◎

あなたが普段なにげなく暮らしている日常生活において、民法をはじめとするさまざまな法律があなたの生活を「そっと」支えてくれていることに気づいてもらえれば嬉しいです。経済との関係も考えながら、法を学ぶとより楽しくなると思います。

島袋 純 (しまぶくろ・じゅん)

第4章

琉球大学教育学部教授

◎社会の一員になるあなたへ◎

私たちが暮らす社会のさまざまなルールや秩序には、理想と現実があるといえます。どちらも人間社会が創り出したもので、自分たちで変えていくことができるのです。何が理想で何が現実かを問い、現実を理想に向け変えていく力を養ってもらえればと思います。

高田 清恵 (たかた・きよえ)

第5章

琉球大学法文学部教授

◎社会の一員になるあなたへ◎

私たちの社会保障は、誰もが人間らしい生活を営むことができる権利を保障するために創られてきた制度です。戦争で多くの命が犠牲になったことへの反省のうえに発展してきた制度でもあります。今、私たちの社会保障はさまざま課題をかかえています。ぜひ、あなた自身の問題として考えてみてください。